

再発防止策の進捗状況 (2019年12月31日時点)

進捗状況の分類

着手 具体策の詳細検討中
 実施中 具体策の実施中
 完了 具体策の完了
 その他 状況に応じて対応

※「完了」後も継続すべき具体策は、継続してまいります。

※更新箇所は、No欄をハイライトしております。

(4) 内部監査・統制体制の強化

① 内部品質監査体制の強化

i) 品質不正を念頭においた監査

▶戻る

具体策			
従来の品質不良防止に力点を置いた監査に対し、監査項目に品質不正をチェックする手順を反映する。品質不正監査を実施できる監査員の育成を行い、必要に応じて抜き打ち監査を実施するなど品質不正を念頭に置いた監査活動を強化する。また、これを実行可能とするため、必要な規定類を整備する。			
No	詳細	実施または完了予定年月	進捗状況
52	a. 当社(KYB)は、2019年3月から実施している品質不正を念頭に置いた検査工程の監査手順を反映した「品質監査規程」の改定を2019年7月に行っております。	2019年12月完了	完了
53	b. 当社(KYB)は、KSMに対して検査成績書の性能データと生データを照合する等の監査を行う過程で、品質不正監査を実施できる監査員を、6名育成しました。また、「品質監査規程」に品質不正監査を実施できる監査員の育成に関する追記を2019年7月に行っております。	2019年12月完了	完了
54	c. 当社(KYB)では、当社及び国内外グループ企業に対しても品質不正を念頭に置いた検査工程の抜き打ち監査を順次実施しております。 2019年度計画と12月時点実績 ・ 当社(KYB)：4拠点（内4拠点済） ・ 国内グループ企業6社（内6社済） ・ 海外グループ企業12社（内10社済）	2020年3月 完了予定	実施中
55	d. 当社(KYB)は、2019年3月から実施している品質不正を念頭に置いた検査工程の監査手順を反映した「品質監査規程」の改定を2019年7月に行い、国内外グループ企業へ展開しました。	2019年12月完了	完了

ii) 検査データの内容を確認する実効性のある監査の実施

▶戻る

具体策			
KSMの監査対象製品及び工程に関する検査データを収集し、収集した検査データの内容を確認・分析することにより、不正防止に実効的な効果のある監査を実施する。			
No	詳細	実施または完了予定年月	進捗状況
56	KSMでは、新検査システムのオイルダンパー加振装置の設置を完了し、検査装置と合わせて試運転を10月から開始しております。今後、社内及び社外のサーバに保存されている検査データが、同一である事を監査する等、実効性のある監査手続きを、本稼働に移行後も実施してまいります。また、既設の全検査機の同システムへの移行も順次行います。	2020年4月 第三者評価完了予定	実施中

iii) 当社による独自の監査

▶戻る

具体策			
これまでグループ企業では独自に品質監査を実施していたが、今後、当社によるグループ企業に対する品質監査を徹底する。			
No	詳細	実施または完了予定年月	進捗状況
57			

当社(KYB)品質本部は、本年度品質監査の実施計画を立案し実施しております。	2020年3月 完了予定	実施中
2019年度計画と12月時点実績 ・当社(KYB)：4拠点（内4拠点済） ・国内グループ企業6社（内6社済） ・海外グループ企業12社（内10社済）		

iv) 専門家による支援

▶戻る

具体策			
当社グループ内に監査のノウハウが蓄積されていないなどの場合に必要に応じて外部専門家を活用する。			
No	詳細	実施または完了予定年月	進捗状況
58	現在、外部専門家の支援が必要な事象は発生しておりませんが、今後、監査のノウハウが蓄積されていない事象が発生した場合の外部専門家を活用する判断手続き等を明確にまいります。	2020年3月 完了予定	着手

このページの先頭へ

②子会社管理体制の強化

i) グループ企業との情報連携体制の強化

▶戻る

具体策			
当社とグループ企業の経営陣との間での会議体を強化し、会議の開催頻度を上げるとともに、トップヒアリング、国内関係会社経営会議、グローバル会議等において、不正防止及び発見に関する討議を強化する。			
No	詳細	実施または完了予定年月	進捗状況
59	本年度2019年12月までに、新たに当社(KYB)と国内グループ企業8社の経営陣との会議を2回、当社(KYB)と海外グループ企業の社長との会議を1回開催し、再発防止を議題として取り上げました。今後、当社(KYB)とグループ企業の経営陣との不正防止に関する定期的な議論等の実施についてルール化してまいります。	2020年2月 完了予定	実施中

ii) グループ企業に対する管理体制の見直し

▶戻る

具体策			
グループ企業の深層を把握可能な体制を確立するため、現在の内部統制室を拡大し、グループガバナンスの総合企画・調整を担う「内部統制部」を設置する。また、「グループ・コンプライアンス推進に関する規程」の実効性を確認し、必要な体制を強化し、業務執行外側からのリスク監査を強化する。会計不正、贈収賄など品質不正に限らない不正の予兆・土壌を検出する機能を担う「不正リスク特別監査委員会(委員長：社外取締役)」を設置する。また、監査部による不正に関する調査を実施し、毎月、取締役会等で報告する。より専門的な調査が必要な場合には外部調査会社を活用する。更に本不正リスク特別監査委員会を常設の「コンプライアンス委員会(仮称)」への発展・移行も検討する。			
No	詳細	実施または完了予定年月	進捗状況
60	a. 2019年4月に、「内部統制部」を設置いたしました。	2019年4月完了 (2019年7月公表)	完了
61	b. 「グループ・コンプライアンス推進に関する規程」の実効性において、国内外グループ企業のコンプライアンスキーパーソン※とのコミュニケーションが不足していたため、2019年10月に国内のキーパーソンを招集して会議を開催し、改めてキーパーソンの役割等について意思統一を図りました。 また、業務執行外側からのリスク監査の強化については、監査部と内部統制部にて監査の在り方について協議を進めております。 ※コンプライアンスキーパーソンとは、各グループ企業のコンプライアンスを含む内部統制推進活動等の実施者。	2020年3月 完了予定	実施中
62	c. 2019年4月に、「不正リスク特別監査委員会」を設置しました。	2019年4月完了 (2019年7月公表)	完了
63	d. 監査部は、委員会です承された手続きで不正調査を実施し、週次で取締役会メンバーに進捗及び結果等を報告しております。 また今後、取締役会等において、不正リスクに関する報告を毎月実施してまいります。	2020年3月 完了予定	実施中
64	e. 現在、外部調査会社の支援が必要な事象は発生しておりませんが、今後、当社(KYB)グループ内において不正に関する重大事象が発	2020年3月 完了予定	着手

	生した場合の外部調査会社を活用する判断手続き等について明確に してまいります。 (本項はNo.37と関連)		
65	f. 「不正リスク特別監査委員会」を常設の「コンプライアンス委員 会」への移行について検討を継続しております。	2020年3月 完了予定	着手

iii) グループ企業の事業リスクの分析・把握

[▶戻る](#)

具体策			
子会社の個々の事業に適用される固有の法令等を洗い出し、そのリスク分析及び必要な教育を行う。			
No	詳細	実施または 完了予定年月	進捗状況
66	子会社の個々の事業に適用される固有の関係法令の洗い出しとその教育 を継続しております。 現在、KSMでは建築基準法等の法令を対象に、外部コンサルタント を講師に招いて社内講習会を実施しております。	2020年3月 完了予定	実施中

iv) グループ企業再編

[▶戻る](#)

具体策			
コンプライアンス経営を視野に入れたグループ再編を実施する。			
No	詳細	実施または 完了予定年月	進捗状況
67	当社(KYB)グループ企業の再編について、検討を引き続き行っており ます。	2020年3月 完了予定	着手

[このページの先頭へ](#)